

わかやまヘルスプロモーション研究 (WHPS)

—動脈硬化健診や認知機能検査を
用いたコホート研究—

和歌山県立医科大学医学部公衆衛生学講座
竹下達也

わかやまヘルスプロモーション研究(WHPS)

—動脈硬化健診や認知機能検査を用いたコホート研究—

過去の身体状態や生活習慣は現在の健康度に
どう関係しているのか

●かつらぎ町

- 北部 平野と山間部 農業
- 和医大附属病院紀北分院
- 健康寿命日本一推進

●みなべ町

- 中部 海沿い 平野 漁業と農業
- 医療費の低さ

●上富田町

- 南部 平野 若年者率 人口増加
- 三大疾病率の低さ

●高野町

- 北部 山間部 宗教の町

●北山村

- 南東部 山間部 人口530人 観光・農業



研究の概要

- かつらぎ町、みなべ町などの40歳以上の地域住民を対象とする健康測定
- みなべ町は2011年から、かつらぎ町は2012年から、ほぼ毎年健診を実施している。これまでに2つの町を合わせて、4000人以上のデータが蓄積している。
- 健康測定の内容
 - 生活習慣、生活活動状況、既往歴、服薬状況、睡眠障害、食事調査（新規のみ）、ロコモ25、フレイルチェックなど
 - 身長、体重、腹囲、血圧、心電図、血液検査、遺伝子型検査、動脈硬化指標（baPWV、ABI、AI、頸動脈内中膜厚(CIMT)、呼吸機能検査、握力・脚筋力、筋肉量、内臓脂肪面積、認知機能検査（MMSE、OLDなど）

健診参加者数

	みなべ			かつらぎ		
	新規	再検	後期高 齢者	新規	再検	後期高 齢者
2011(H23)	986	—		—	—	
2012(H24)	377	238	169	472	—	
2013(H25)	—	—	—	323	152	170
2014(H26)	131	319	93	330	327	180
2015(H27)	139	131	—	230	444	149
2016(H28)	—	—	—	269	532	
2017(H29)	—	347	—	203	600	
計	1494	557	262	1827	2055	499

*2016年以降は、後期高齢者は全体の人数に含まれている

研究組織

- 和歌山県立医科大学医学部
竹下達也、牟礼佳苗（公衆衛生学講座）、宮下和久（衛生学講座）
- 和歌山県立医科大学保健看護学部
有田幹雄、志波 允、内海みよ子、上松右二、宮井信行、水越正人、服部園美
- 天理大学体育学部
寺田和史

今後、和歌山県立医科大学医学部の臨床医学の各教室に呼びかけ、研究内容を充実させていく

和歌山県の最近の健康状況

- 平均寿命

男性79.94歳(44位)、女性86.47歳(41位) (2015年)

- 健康寿命

男性71.36歳(43位)、女性74.42歳(37位) (2016年)

- 75歳未満がん年齢調整死亡率80.3/10万(37位)

- 虚血性心疾患年齢調整死亡率

男性43.0/10万(43位)、女性18.2/10万(37位)

- 高血圧（収縮期血圧130mmHg以上）の標準化比(全国=100)

男性107.7、女性109.1 (国保データベース2015年)

- LDLコレステロール高値(120mg/dL以上)の標準化比(全国=100)

男性103.7、女性104.7(国保データベース2015年)

- 糖尿病治療有の標準化比(全国=100)

男性114.0、女性117.5(国保データベース2015年)

- 日常生活における歩数

20-64歳男性6,430歩、20-64歳女性5,940歩(2016年県民健康・栄養調査) 2011年に比べて男性で1000歩、女性で2000歩近く減少している

今後の方向性

- わかやまヘルスプロモーションスタディ (WHPS) 参加者の健康度に関係する遺伝・環境要因の解析、将来の健康度の予知予測モデルの開発
- 和歌山県内市町村、和歌山県内企業などに働きかけ、健康寿命延伸や健康経営の推進
- かつらぎ町内の学校など、一部の学校をモデルとして、「若年期からのヘルスプロモーション教育」の推進を開始しており、一層の推進を図る